

2024 年度 第 6 回理事会議事録

- I. 会議名 : 2024 年度 (公社) 日本地すべり学会 第 6 回理事会
 II. 開催日時 : 2025 年 3 月 7 日 (金) 14 時 30 分~17 時 00 分
 III. 開催場所 : TKP新橋汐留ビジネスセンター3階カンファレンスルーム304
 IV. 出席者 : 理事出席 16 名, 監事出席 2 名, その他 2 名
 (“W” は Web 参加)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	浅野 志穂	○	理事	岡田 康彦	×	理事	杉本 宏之	○
理事	新井場 公德	○	理事	笠井 美青	○W	理事	堤 大三	○W
理事	飯沼 達夫	○	理事	加藤 猛士	○	理事	中村 真也	×
理事	石丸 聡	○W	理事	木村 一成	○W	理事	林 一成	○
理事	稲葉 一成	○W	理事	佐藤 剛	○W	理事	古谷 元	○W
理事	今泉 文寿	×	理事	佐藤 浩	○	理事	森口 周二	×
理事	王 功輝	○W	理事	柴崎 達也	○W	(理事 16 名, 定足数 11 名)		

監事	竹下 航	○	監事	木村 勝美	○	(監事 2 名)		
----	------	---	----	-------	---	----------	--	--

事務局	鈴木 英則	○	総務部	藤元 亮	○	(その他 2 名)		
-----	-------	---	-----	------	---	-----------	--	--

○理事会開催時における理事の出席数は 15 名。定足数 11 名 (理事の過半数) を満たし理事会は成立。開催時に Web による出席理事の通信確認を行った。

加藤理事は、審議事項-1 の途中より参加 (出席理事 16 名)。

○議事録署名人は、浅野会長、竹下監事、木村幹事。

<議長あいさつ>

浅野会長が開会のあいさつを行った。

議題 I . 審議事項

1. 2025 年度事業計画

各部長, 支部長, 委員長より, 2025 事業計画についての説明がなされた。(部長, 支部長, 委員長が欠席の編集出版部, 表彰委員会, 解説委員会, 選挙管理委員会, 東北支部, 九州支部については林理事, 斜面对策技術国際化委員会については浅野会長から説明がなされた。能登半島地震対応委員会については担当の杉本理事, 会員数対策については加藤理事, アウトリーチについては柴崎理事より説明がなされた。) 説明後の理事, 監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 今年度、新たにに取り組む計画があれば教えていただきたい。
 - 能登半島地震対応委員会については、今年度現地調査が中心であったが、次年度は4つの研究テーマを設定し、研究活動を実施していく予定である。次年度末を目標に成果をとりまとめる予定であるが、残された課題についてはその後も研究活動を継続する予定である。
 - アウトリーチについては、支部との連携も進められたい。中部支部でも、アウトリーチ活動・会員対策活動を新たに実施していく予定である。
- ・ 2025 年度事業計画についての審議の結果, 賛成 16 票, 反対 0 票で承認された。

2. 2025 年度収支予算

林理事より, 2025 年度収支予算についての説明がなされた。説明後の理事, 監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 新潟支部の現地検討会費の予算 422,000 円については, 382,000 円の誤りである。修正していただきたい。
- ・ 予算の金額について, 他にも誤りがある可能性がないか確認させていただきたい。この場で細かな金額の確認までは難しいと思われる。
 - 執行部で確認を行い, 軽微な修正は執行部に一任する。
- ・ 編集出版部の通信運搬費 (学会誌郵送) の予算が昨年度と同様の 150 万円であるが, 昨年度の郵便料金の値上げ改定の影響を受けるように思われる。問題ないか確認させていただきたい。
 - 昨年 の第 4 回理事会で審議を受けた事項であるが, 郵便料金値上げを考慮し, これまで普通郵便で送付していた年会費請求をとともう 1 月号の送付方法を, より安価なゆうメールで送付できる方式に変更している。今後さらに値上げがあった場合は影響を受けることとなるが, 現時点では, 予算の金額で対応可能と考えている。
- ・ 収支は約 774 万円の赤字となっている。黒字を目指す必要はないと考えるが, 学会に求

められる活動を継続できるように、収支の一致を目標にしていく必要がある。これに関するご意見があればいただきたい。

→公益性の観点から重要な取り組みには、ある程度金額がかっても予算を確保するといった判断もあるように思う。学会としてあるべき姿を議論して、どのように予算を確保していくかという議論が必要と思われる。

→公益性と学術活動の全体のあるべき姿の議論が不足している。学会のリソースを全体でどのように配分するのかを次年度、議論する場を設けるようにしたい。

→北海道支部では、参加費を増やすなど収益を増やす検討をしたが、共催機関との調整が難しく、大学を会場とするなどして費用を減らすという努力をした。

→収益を改善するには各支部の講習会、現地見学の参加費用、受託研究業務を増やす。会員数を増やすなどの取り組みが必要と思われる。

→例年、次年度の予算を3月、今年度の決算を5月に審議しているが、一緒にやらないとわかりにくいと考える。また、実績を踏まえた予算を検討できないといった問題もあるように思われる。

→月次決算を実施すれば対応可能と思われるが、各部、支部が対応できないと考える。また金額の大きい研究発表会の決算も年度末にならないと判らない。内閣府からは3月中に次年度予算の報告、6月中に決算報告を義務付けられており、これを踏まえたタイミングで理事会審議を受けている。ご了承ください。

- ・ 2025年度収支予算についての審議の結果、賛成16票、反対0票で承認された。

3. 2025・2026年度社員総会と理事会の日程

林理事より、2025・2026年度社員総会と理事会の日程についての説明がなされた。説明後の理事、監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 第2回理事会は、研究発表会前日の県民講演会を16時から予定しているため、県民講演会までに終わる時間に変更していただきたい。

→時間を13時00分～15時30分に変更する。

- ・ 2025・2026年度社員総会と理事会の日程についての審議の結果、賛成16票、反対0票で承認された。

4. 2025年度社員総会の日時・形態・場所・議題

林理事より、2025年度社員総会の日時・形態・場所・議題についての説明がなされた。

- ・ 2025年度社員総会の日時・形態・場所・議題についての審議の結果、賛成16票、反対0票で承認された。

5. 新公益法人制度を踏まえた日本地すべり学会の対応

鈴木事務局長より、新公益法人制度を踏まえた日本地すべり学会の対応についての説明がなされた。説明後の理事、監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 会計基準の見直しは、新たな会計ソフトを導入すれば負担は変わらないという認識でよいか。
→現段階では不明である。3年間の経過措置があるため、会計ソフトの購入等、慎重に確認しながら対応していきたい。
- ・ 新公益法人制度と日本地すべり学会の対応についての審議の結果、賛成 16、反対 0 票で承認された。

6. 職員（事務局長）の給与改定

林理事より職員（事務局長）の給与改定についての説明がなされた。説明後の理事、監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 次年度の収支予算に反映されているか確認させていただきたい。
→反映されている。
- ・ 昇給理由の「近年の物価上昇を踏まえて」の記載は、細則の記載（良好な成績で勤務したと理事会にて承認された場合、次の事業年度当初において直近上位の号俸に昇給させることができる）と整合しないため、削除するべきではないか。
→その他の不要な記載とともに削除する。
- ・ 職員（事務局長）の給与改定についての審議の結果、賛成 16 票、反対 0 票で承認された。

7. 入退会者状況

鈴木事務局長より入退会者状況についての説明がなされた。

- ・ 2025年2月25日現在の会員数は合計1,587名（2024年3月1日時点1,537名と比較して+50名）である。
- ・ 入会者についての審議の結果、賛成 16 票、反対 0 票で承認された。

議題Ⅱ．報告事項

1. 2025・2026 年度代議員候補者

林理事より，2025・2026 年度代議員候補者についての説明がなされた。

- ・ 理事、監事からの意見は，特になかった。

2. 地すべり 3 次元モニタリング勉強会開催報告

加藤理事より，地すべり 3 次元モニタリング勉強会開催報告についての説明がなされた。

説明後の理事、監事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 現場と BIM/CIM をどのようにつなげるか知りたいという要望が多いため、この観点をもって今後も企画していく。
- ・ アンケート結果を分析し、ニーズに合致した勉強会を今後も開催していただきたい。

3. 海外研究者による講演 2024

佐藤浩理事より，海外研究者による講演についての説明がなされた。

- ・ 理事、監事からの意見は，特になかった。

以上

議事録署名人 会長 浅野 志穂 ㊟

議事録署名人 監事 竹下 航 ㊟

議事録署名人 監事 木村 勝美 ㊟